



新型コロナウイルス感染症対策 関連情報

市長から市民の皆様へのメッセージ

～「新しい生活様式」を実践しましょう～



ターゲット 3.3

令和2年5月7日

郡山市保健福祉部保健所総務課

担当：朝倉 陽一 TEL：924-2120

SDGs ターゲット3.3 「伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」

政府、福島県知事から、「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」の対象期間を5月31日までとする延長発表を受け、市民の皆様との共闘課題について市民の皆さまへメッセージを送りました。

「市長から市民の皆さんへのメッセージ」全文は、別紙のとおりです。



郡山市長から市民の皆さんへのメッセージ動画は [こちらから](https://m.youtube.com/watch?v=zXcZDe5iFAY)ご覧いただけます。

<https://m.youtube.com/watch?v=zXcZDe5iFAY>



— 参 考 —

【厚生労働省】 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html



市長から市民の皆様へのメッセージ
～「新しい生活様式」を実践しましょう～

市民の皆様には6度目のメッセージを申し上げます。

ご覧くださりありがとうございます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の対応に、献身的に対応されております医療従事者の皆様、その活動を支えておられる皆様、また、大型連休中も私たちの生活基盤を維持していただきましたエッセンシャル・ワーカーの皆様など、懸命に御尽力いただいております関係者の皆様に、深く敬意と感謝の意を表します。

また、長期間にわたり不要不急の外出自粛や、休業等に御協力いただいている全ての皆様に対しましても、改めまして御礼を申し上げます。

一方、誠に残念ながら、命の最前線で頑張っておられる医療関係者やそのお子さんに対する差別があるとのお話を伺いました。見えない敵との戦いで、皆様の生命と健康を守るため最大限の注意を払って御活躍いただいております同朋に対し、正しい理解のもと御対応くださるようお願いいたします。

さて、本市におきましては、去る5月6日に、4月10日以来となる市内6例目の新型コロナウイルス罹患者が確認されました。

すでに、罹患された5人の方は退院されておりますが、昨日罹患が確認された方におかれましても、1日も早く退院できますよう御祈念いたします。

これからの皆様との共闘課題を申し上げます。

政府、そして内堀福島県知事から、「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」の対象期間を5月31日まで延長することが発表されましたことは、すでに御承知の通りであります。

県内の最近の感染状況は、1日あたりの感染者は少数ですが、これまで感染が確認されていなかった市町村や、幼児や高齢者が経路不明で感染する事案が発生しており、依然として予断を許さない状況にあることを、皆様とともに再認識しなければなりません。

一旦、収束したように見えて感染の第2波が発生した例や、接触機会削減対策を止めてしまうと2週間程度で感染者数が元に戻るとの推計もあり、ここで気を緩めてしまえば、これまでの努力が水泡に帰してしまいます。

このため、本市におきましても、「市主催等イベント中止等及び市有施設の休館に関する指針」の対象期間を31日まで延長させていただきました。

特に御留意いただきたいのは、5月4日に、安倍総理から「この新型コロナウイルスへの対応は、ある程度の長期戦を覚悟しなければならない」との発言があり、政府の専門家会議から、長丁場を見据えた「新しい生活様式」が提言されたことでもあります。

内容は、これまでもお願いしてきました、「密集、密接、密閉の3密回避」や「手洗いの徹底」、「せきエチケット」、「感染流行地域等への移動や帰省の自粛」を継続いただくとともに、「屋内・会話時に加え外出時のマスク着用」や「人との社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保」など、“基本的な感染対策”が示されております。

また、買い物や食事など“日常生活の各場面別の生活様式”やテレワークやオンライン会議の推進など“働き方の新しいスタイル”についても、実践事例が提示されました。ホームページからもプリントアウトできますので、ぜひ、家訓・社訓となさってください。

『三尺下がって師の影を踏まず』との訓えありますが、現在においては、「2m（7尺）離れてコロナ広めず」が令和の訓えとなります。

「新しい生活様式」を実践することで、現在の新型コロナウイルスや、今後発生する新型のウイルスに対する感染リスクを大幅に低減することが可能となり、まさに、「New Normal＝これからの当たり前の行動」となるものです。

長年の生活習慣やスタイルを変えることの苦難を乗り越えたお一人おひとりの行動が、ご自分の、家族の、そして隣人・友人・同僚・おなじみのお店のマスターの生命と生きる権利を守る行動となります。何卒、一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

市内の小・中・義務教育学校における、「新しい生活様式」を踏まえた学習方法につきましても、近々お知らせ申し上げます。

それでは、“STAY AT HOME”で、この週末もお過ごしください。

令和2年5月7日

郡山市長 品川 萬里